スポーツ社会学

科目ナンバリング　SPS-102
選択　　2単位

高田　彬成

1. 授業の概要（ねらい）

現代におけるスポーツは、一部の特権階級の人々が享受していたものから、広く大衆の文化として人々の生活に浸透している。本講義では、スポーツの歴史を学びつつ、スポーツ文化を包括的に理解することを目的とし、中でも特に現代社会に特徴的と思われる視点について考える。

2. 授業の到達目標

①　現代社会における文化としてのスポーツ活動の意義や機能について考え、説明できる。
②　スポーツのもつ様々な社会的課題とその解決方法について、自分の考えをまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

授業内課題・学習態度・意欲（40%）及び試験（60%）で、総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書
特になし。講義レジュメ・資料を配付する。
参考文献
井上俊・菊幸一編著　「よくわかるスポーツ文化論」　ミネルヴァ書房　2012年
海老原　修　「現代スポーツ社会学序説」　杏林書院、2003年

5. 準備学修の内容

①　新聞のスポーツ欄を毎日読んでおく。
②　テレビニュースでスポーツ関連のニュースをチェックする。
③　スポーツ関連の書籍を定期的に読む。

6. その他履修上の注意事項

①　授業マナー（携帯電話・スマートフォンの扱い、飲食等）を守る。
②　スポーツ社会学に問題意識をもって主体的に取り組む。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション　スポーツ社会学の意義とは何か
【第2回】　スポーツの誕生と歴史
【第3回】　教育・教養としてのスポーツ
【第4回】　スポーツパーソンシップとフェアプレイ精神
【第5回】　近代スポーツの普及と発展
【第6回】　スポーツにおける勝利至上主義
【第7回】　オリンピズムとスポーツ
【第8回】　スポーツ基本法とスポーツ基本計画
【第9回】　現代スポーツの特徴と生涯スポーツ政策の変容
【第10回】　スポーツの公共性とスポーツの社会的機能
【第11回】　スポーツとの豊かな関わり1「する」（スポーツ実践者としての楽しさや喜び）
【第12回】　スポーツとの豊かな関わり2「みる」（スポーツ観戦におけるスポーツとのかかわり）
【第13回】　スポーツとの豊かな関わり3「支える」（スポーツイベントの企画・運営としてのスポーツ参画）
【第14回】　総合型地域スポーツクラブの意義や役割とその課題
【第15回】　まとめと定期試験